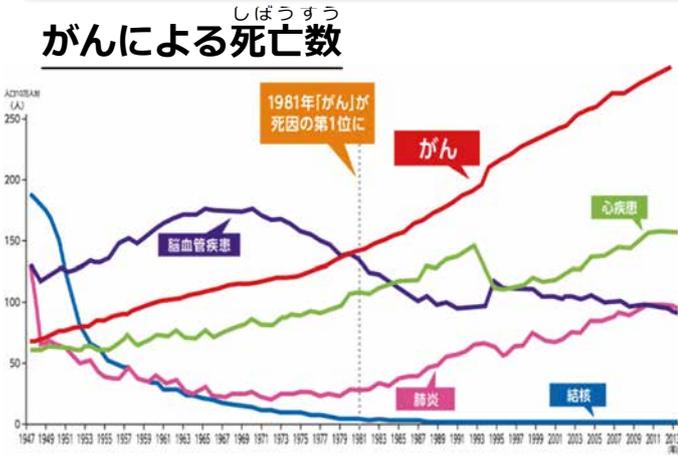


～がんについて、知っていますか？～



にほんじん しぼうげんいん
がんは、日本人の死亡原因の第1位です。

がんによる死亡数



日本人の

がんになる人の割合は、**2人に1人**

がんで亡くなる人の割合は、**4人に1人**

がんによる死亡数は増え続けている

※しかし、高齢化の影響を除いた75歳未満の人口10万人に対するがん死亡率をみると、大幅に減少しています。(奈良県：2005年 94.3→2022年 64.3)

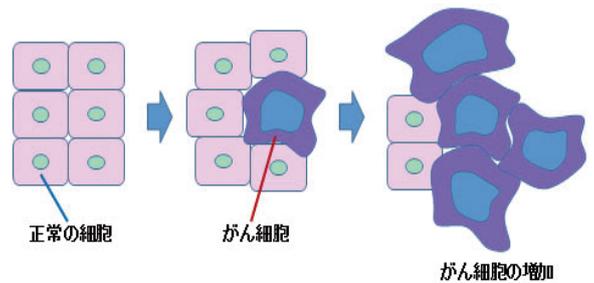
からだ なか いじょう さいぼう ぶ びょうき
『がん』は、体の中で異常な細胞が増えてしまう病気です。

人間の体はたくさんの細胞からできています。細胞は古くなると死に、新しいものと入れ替わります。新しい細胞は、細胞にある遺伝子が正確にコピーされて生まれますが、遺伝子をコピーするときにミスが起こることがあります。

このミスは、普段はがんをおさえる遺伝子が毎日修理していますがミスが見逃されてしまうと、がん細胞になります。

がん細胞が長い年月をかけて増え続けると、「がん」になります。

顕微鏡でみた「がん」のイメージ



- ◎ 異常な細胞を排除するしくみである免疫が年を取ることなどにより低下すると、発生したがん細胞を死滅させることが難しくなります。
- ◎ たばこや過度の飲酒などの生活習慣が関係していることもあります。
- ◎ がんが直接、人にうつることはありませんが、肝炎ウイルスなどの感染が原因となる場合もあります。
- ◎ 小児や若い人のがんには、原因がよくわかっていないものも多くあります。

年齢別がんになる人の割合



だれ かのうせい
がんは誰でもなる可能性がある

がんは、早く見つけて、早く治療することで、治る確率が高くなる！

がんは早い段階で発見し治療すれば、9割以上が治ると言われています。

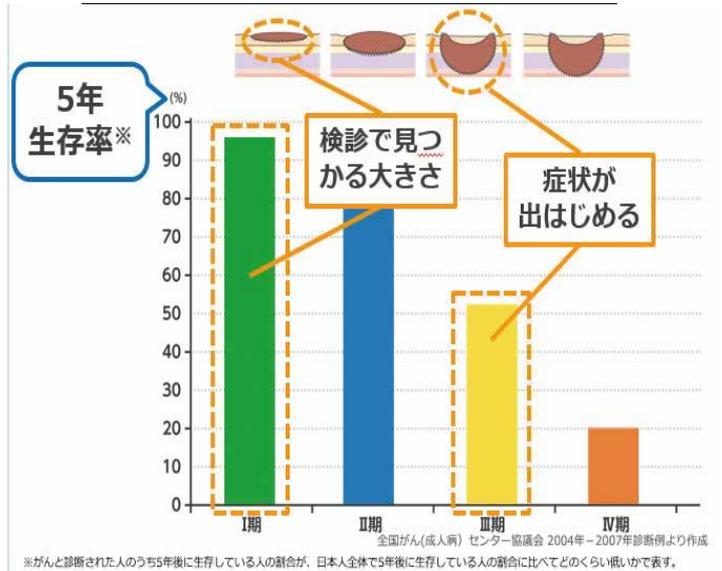
早期のがんは、痛みなどの症状が現れにくいため検診が重要な役割を果たします。

がんの進行と自覚症状が出るまでの例



細胞が変異する

がんの進行度と5年生存率の平均的な関係



《厚生労働省が推奨しているがん検診》



がんの危険性を減らすためのアドバイス！

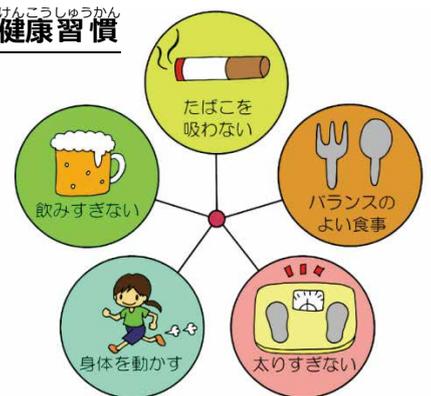


たばこの煙を吸うと、肺をはじめ、全身の様々ながんを引き起こす可能性が高くなります。

たばこを吸う人のがんになる確率は、吸わない人よりも、男性は1.6倍、女性は1.5倍に高くなると言われています。

出典:多目的コホート研究(JPHC Study)

5つの健康習慣



上の5つの健康習慣を実践することで、がんやその他の病気になる可能性が低くなります。

がんの危険性を減らすためには、望ましい生活習慣と定期的にがん検診を受けることが大切です！！

